



牛馬信仰として栄えた寺でした。更にその隣には、吉川集落から移築した鳥取県指定保護文化財三百田氏住宅が建っています。これは元禄7〔1694〕年に建てられた庄屋の主人で「一代普請方合人数帳」という建築当時の古文書が残っています。これに隣接する白壁土蔵風の建物は、平成7年10月に完成した山村文化保存伝習施設「たくみの館」で、展示室・取蔵庫・体験学習室・研修室等を備えた生涯学習の施設になっています。若桜のまち並と、国指定史跡若桜鬼ヶ城跡の眺望が美しいこの地は、祖先が残した文化を偲び、それを学ぶ土地にふさわしい趣を今に残しています。

若桜森林公園



東屋から見た若桜宿

平成5～6年の2ヶ年で整備された森林公園は、若桜郷土文化の里を訪れた方の憩いの場として親しまれています。

公園内は若桜町の名産でもある、杉や松の林をくぐって行く森林浴コース、谷川のせせらぎを聞きながら東屋へ登るせせらぎコース、広葉樹林の中を進み東屋へと登って行くパノラマコースの3コースがあります。小鳥のさえずりを聞きながら東屋へ登ると、遠くは東山や若桜鬼ヶ城跡、目の前には城下町若桜宿が一望できます。

ご利用案内

- 開館日・開館時間／火曜日～日曜日・午前9時～午後5時
その他の日及び時間は教育委員会の許可が必要
- 休館日／年末年始・月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
- 入館料／無料（特別展は除く）



所在地

〒680-0721 鳥取県八頭郡若桜町屋堂羅37

お問い合わせ先

たくみの館 TEL.(0858)82-0583

若桜町教育委員会

〒680-0701 鳥取県八頭郡若桜町若桜757

TEL.(0858)82-2213

FAX.(0858)82-1045

<http://www.town.wakasa.tottori.jp/>

若桜郷土文化の里



県指定無形文化財「木工芸」保持者 若荷定治氏作品

歴史の深さを
そつと語る…。



杉と松の林、広葉樹の森に包まれた森林公園のふもとには、鳥取県および若桜町指定の文化財や文化伝習施設などの建物が並んでいて、この辺り一帯を「若桜郷土文化の里」と呼んでいます。町指定文化財の若桜町歴史民俗資料館は、明治40〔1907〕年に創建された、かつての山陰合同銀行の建物で、若桜の宿内から移築したものです。また、その隣にある山門は、長砂集落にあった無動山永福寺跡から移築したもので、堂宇建立時（明和3〔1766〕年）の建造物と思われます。永福寺は、鳥取県指定保護文化財に指定されている大日如来坐像（2体・鳥取県立博物館に寄託）を本尊とし、その昔、



若桜町山村文化保存伝習施設
たくみの館



鳥取県指定保護文化財
三百田氏住宅



町指定文化財
若桜町歴史民俗資料館



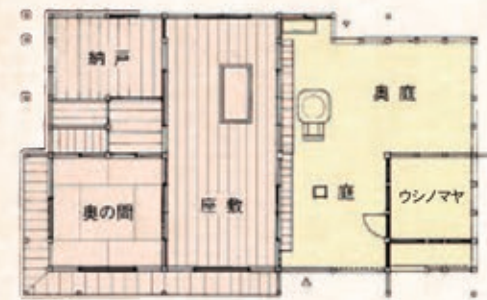
木工室



座敷の様子



展示室



平面図



意匠を凝らした神棚

三百田氏住宅は、平成4年より約2年の歳月をかけて、吉川の集落から移築復元した庄屋の家です。その建築様式は、因幡地方の特徴である入母屋茅葺き屋根、梁行4間桁行7間半のいわゆる「四・八」、大戸口が右寄りの「本建ち」のつくりで内部は「広間型三間取り」と呼ばれています。また、一部の柱梁の仕上げにかななが用いられている事で、同時代の民家に比べ新しい工法を取り入れているのは、播州の宮大工が普請したことと関係すると思われま。今では珍しくなった重厚な茅葺き屋根に太い梁と大きな囲炉裏は、庄屋らしい家格を感じさせ、私達に先人の生活の知恵や工夫といったものを教えてくれます。また、座敷を利用したり、そこで食事をするなど幅広く利用されています。

奥座敷の利用

- 520円/回
- ※要予約
- ※見学は無料

若桜町歴史民俗資料館は、昭和56年山陰合同銀行若桜支店の社屋新築にあたり、旧社屋を譲り受けて移築復元したものです。この建物は、明治時代(明治40年創建)の典型的な土蔵造りで、豪商の面影を伝えており、当時、銀行の威信をかけて銘木を駆使した斬新な設計となっています。外観についても間口に比して低い軒、どっしりと品よく調和した入母屋造りで、特に土蔵の妻の技巧が正面に配され、建物全体が変化に富んだ美しさを現出しています。また、奥座敷はお茶会等に利用することもできます。



奥座敷



無動山永福寺の山門

無動山永福寺の山門は、昭和56年若桜町大字長砂地内、無動山永福寺跡より、若桜町歴史民俗資料館隣に移築復元したものです。この無動山永福寺(現在庵寺)は、鳥取県指定の保護文化財に指定された大日如来坐像2体(胎藏界と金剛界)が本尊とされ、現在鳥取県立博物館に委託管理されています。この尊像の彫刻手法は、考証されたところによると、平安時代末期か鎌倉初期のものだといわれています。

たくみの館は、若桜町のまち並みの特徴である、蔵通りの土蔵と若桜宿の飯屋をイメージした建物になっています。内部は郷土の文化、産業の資料展示や、ミニ美術館等に利用できる展示室、木工ろくろを使った木地師の体験や木工体験のできる体験実習室、展示や学習、会議等に利用できる研修室、貴重な資料を収める取蔵庫を備えていて、だれでも気軽に利用することができます。特に木工ろくろは、管理人に指導してもらいながら、初心者でも簡単にコマ・茶たく・こけしなどを作ることができます。

木工ろくろ体験

- 一般 300円(1時間)
- 高校生以下 150円(1時間)
- ※材料代別(150円)
- ※要予約

座敷の利用

- 520円/回
- ※要予約
- ※見学は無料